

木曽町から本校へ食糧米 110 kgをご寄贈いただきました

1月23日(金)、木曽町より「木曽町物価対策重点支援事業」の一環として、食糧米110 kgをご寄贈いただきました。当日は、木曽町の加藤真和町長、越孝弘教育長が来校され、温かい励ましのお言葉とともに、子どもたちの食を支えてくださるお米をお届けいただきました。

本校では、寄宿舎での給食も含め、一日におよそ7~8 kgのお米を使用しています。今回寄贈いただいた110 kgは、約1か月分に相当する大変貴重な量であり、物価高騰の影響が給食にも及ぶ中、学校運営にとって大きな支えとなります。

いただいたお米は、長野県の豊かな自然環境の中で大切に育てられたものです。寒さが厳しい季節ではありますが、子どもたちはこのおいしい長野県産のお米をしっかり食べ、毎日を元気に過ごすことができそうです。

今回のご寄贈を通じて、地域と学校が手を取り合い、子どもたちの成長と共に支えてくださっていることを改めて実感いたしました。木曽町の皆さまの温かいご厚意に、心より感謝申し上げます。

